

津田校区だより

発行所
津田校区
コミュニティ協議会
福祉委員会
広報部



「楽しかった つだつこまつり・ミニ運動会」

津田校区コミュニティ協議会 会長 長村 幹夫

新年が明け令和7年が始まりました。校区の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のことと存じます。日頃は、本協議会の各種団体に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の元日には最大震度7の激しい地震が能登半島を襲い、深刻な被害を与えました。また、6,434人が犠牲になった阪神・淡路大震災から今年で30年が経過しました。私たちが住むところも、南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を、これまでに言われていた「70%→80%」から「80%程度」に引き上げて報道されています。いつ起こるか分からない巨大地震に対して、常日頃から防災意識を高めておくことが求められています。

昨秋に開催しました、つだつこまつり（10月26日）、ミニ運動会（11月24日）にたくさんの皆様に参加いただき、心より感謝申し上げます。多くのこどもたちの笑顔に接することができ、とても有意義な世代間交流

の時間を過ごすことができました。

さて、現在の民生委員・児童委員及び主任児童委員は、本年の11月30日をもって任期満了となり、全国的に一斉改選が行われます。今回の一斉改選では、団塊世代が75歳以上の年齢を迎えることから、これまでに増して民生委員の担い手不足が懸念されています。このような状況であっても、津田校区の皆様の中から民生委員・児童委員を選任していただければなりません。今後、本協議会のあらゆる場においてこの件について呼びかけてまいります。皆様のご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、校区の皆様におかれましては、ご健康に留意され益々のご活躍をお祈り申し上げますとともに、今後とも本協議会の活動に対しまして、ご厚情とご鞭撻並びにご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



「津田校区福祉の町づくり計画」を実施してゆきます

津田校区福祉委員会 会長 平尾 賢二

令和7年が始まって一か月、日本の政治・経済面だけでなく世界中が大きく変化してくるのではないかと予想されます。

津田地域の人口は微減ですが、農耕地が住宅地に変わり、古い家を取り壊されて新しい家や店になっているのを散見するようにになりました。こうした中で、人のつながりが希薄になり、地域の自然や歴史を見つめて未来を考え、より良い未来を考えていく気運が醸成しにくくなっているのではないかと心配しています。

昨年、校区に住むみんなが故郷・津田を愛することができるよう「津田校区福祉の町づくり計画」を作成中とお伝えしましたが、5月には出来上がり回覧させていただきます。この計画の実施を図りつつあります。

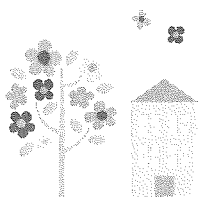
目標1ではより有効な広報活動を行うようにしていくという点に関して、ポスターなどの掲示を増やして、さまざまな行事を多くの区民に知らせ、参加者が多くなつてほしいと思っています。たとえば、福祉サロ

ンの映画会（2月14日）、春祭り作品展（2月26日～28日）などです。

目標2では、夏休みに、小学生・中学生が、お寺で学習会などができないか、ボランティアで高校生・大学生が指導するようないかがを折衝しようと思っています。

目標3では、高齢者が社会参加を図ったり、健康維持のための体操を近場で出来るような場所と機会を設定したいと思っています。

コミュニティや津田校区が実施する行事にも大いに参加しましょう。たとえば、グラウンドゴルフ（3月8日）、ふれあいフイステイバル（3月23日）など。参加して大いに楽しみましょう。元気いっぱい笑顔いっぱい津田の人達が、たくさん見られる日を夢見ています。



ミニ運動会を終えて

津田校区コミュニティ協議会
スポーツ推進委員

青島 弘

11月24日（土）、津田小学校区コミュニティ協議会主催のミニ運動会を開催しました。当日は天候に左右される場面も少しありましたが、たくさんの方々に参加いただき、楽しい時間のままに終わることができました。

子どもたちが元気いっぱい走り回る姿や、参加者、応援するご家族が笑い合う場面がたくさん見られました。「パン食い競争」や「二人三脚」、「借り物競争」など、どの種目も盛り上がり、大人も一緒にださる姿に、スタッフ一同とても嬉しく思いました。

ご参加いただいた皆さんの笑顔と協力のおかげで、ケガもなく無事に終えることができました。また、準備から当日の運営まで支えてくださったスタッフやボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。ご協力いただいた皆さんの力があつたからこそ、楽しい一日を作ることができました。

ミニ運動会を通じて、地域のつながりがまた一歩深まったのではないかなと感じています。ますますこの地域の未来が楽しみになります。新たなアイデアや取り組みを取り入れて、より魅力的な地域全体が楽しめる運動会に変えていきたいと考えています。これからも、津田小学校区がもっと楽しく、住みやすい場所になるような活動を続けてまいります。どうぞ引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします！



津田小学校区で 自主防災訓練を実施！

今年の節分の日2月2日（日）の午前に津田小学校体育館で、今年度の防災訓練を実施しました。当日はあいにく、雨上がりのコンディションのため、運動場で予定していた消火訓練などは取りやめ、体育館にて、AEDによる心肺蘇生訓練とクイズ形式による防災小テストとなりました。伏見市長が激励に駆けつけて来られ、津田校区コミュニティ協議会の長村会長の開会挨拶に続いて、ご挨拶をいただきました。

訓練には小さなお子さんから高齢者の皆さんまで、約150人が集まり、心臓マッサージやAEDの使い方、被災時の避難の仕方や新聞でのスリッパ作りなどの説明を熱心に聴き皆で実践しました。また、体育館には組立式の簡易トイレや救助用工具セット、非常食などを展示し、随時ご見学いただきました。

訓練の後、アトラクションとして災害時にも有効な「大声コンテスト」を行い、大人も子どもも普段の鬱憤を晴らす様に大声を張り上げてもらいました。

今後30年以内における南海トラフ巨大地震の発生確率は、80%程度とされています。また、枚方市の東部地域には生駒断層があり、いつなんどき大地震が起きるかわかりませんが、いつか必ず起きるとされています。各家庭では、日頃から災害に備えていただくとともに、今回の様な訓練には是非積極的にご参加いただきますようお願いいたします。



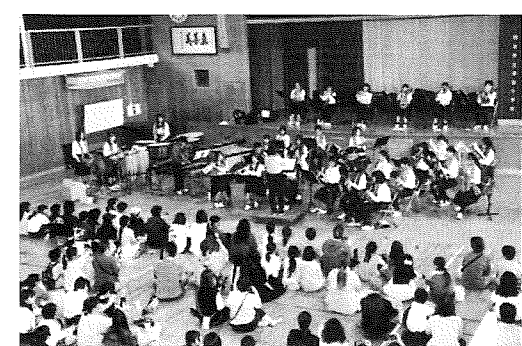
訓練には小さなお子さんから高齢者の皆さんまで、約150人が集まり、心臓マッサージやAEDの使い方、被災時の避難の仕方や新聞でのスリッパ作りなどの説明を熱心に聴き皆で実践しました。また、体育館には組立式の簡易トイレや救助用工具セット、非常食などを展示し、随時ご見学いただきました。



「つだこまつり」開催！

例年7月に津田小学校で開催してました、コミュニティ協議会の青少年部会主催の「ふれ愛サタデイ Summer デイ」を、本年度は熱中症やコロナ禍の感染対策として、秋の10月26日の土曜日に「つだこまつり」として催しました。

ラックアウト」など、体を使ったあそびで楽しんでいただきました。恒例の模擬店は、青少年育成指導委員による焼きそば・フランクフルト・カキ氷・ジュースを、津田ふれあい地域教育協議会の綿菓子やクレープのキッチンカーにも来ていただき、おなかを満たして頂きました。



秋雨前線の心配もありましたが、何とか曇り空の下、ボランティアスタッフの方々を含む600名以上の参加者で盛り上げて頂きました。

空手クラブ健慎会によるミュージック空手でのオープニングを飾って頂き、そのあと体育館ではPTAの方々によるボールやフリスビーなどを使ったゲーム。グランドでは野東野球チームの当「スト

ファイナレは小学校の校務員の中尾さんによるギター演奏と中学校の吹奏楽部の演奏で締めくくっていただきました。参加していただいた皆さん、そしてスタッフとして協力していただいた方々、有難うございました。

野東野球チームの当「スト



いきいきサロン「干支作り」

○日時…2024（R6）年
12月4日

○場所…津田集会所（3地
区分散の為）

当日は好天に恵まれ、朝
早くから約40名の方が集
まって来られ、中にはテ
ブルのセット等、手伝って
下さる元気な方もいらっ
しゃいました。

多くはご近所の方誘い
あつて、といつても一人暮
らしの条件付ですが、とて

も和やかな雰囲気です、楽し
くおしゃべりしながら食事
をしていたいただきました。

食事の後少し休憩して頂
いている間に、干支色紙作
りの準備をすませ巳年の干
支色紙の制作について注意
事項等伝えました。そして
布を切り接着剤をつけ全員
和気あいあいと教えあつた
り担当の民生委員に尋ねた
りしながら完成し、気持ち
良く帰っていかれました。



津田校区の人口・世帯数・高齢化率（65歳以上／人口）

（令和7年1月1日現在）

- ・ 男性 5,509人・女性 5,600人 計 11,109人（-116人）
- ・ 世帯数 5,513戸（-11戸） ・ 高齢化率 29.5%（+0.1%）
- ・ 65歳以上 男性 1,447人 女性 1,871人 計 3,298人



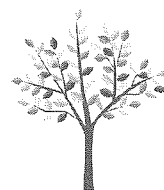
令和6年 地域福祉募金に

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 地域福祉募金 **359,230円**

令和7年1月10日現在

※昨年度は399,175円でした。※令和7年度助成額は179,615円（予定額）です。



その他の募金



—ご協力ありがとうございました—

赤い羽根共同募金 176,615円

歳末助け合い募金 176,765円



編集後記

「安心・安全の街津田を！」
という目標の実現を今年も
進めて行きたい。▼南海ト
ラフ地震が今後三十年間に
八十％程度の確率で起こる
という。▼津田校区の人々
の心に灯りを燈す活動に関
心を持ち行動する人が増え
れば…と思う。「人の運命
を形成する類型は、主とし
てその人自身の手中にある」
と故人は言っています。